

## 三条市公立保育所民営化等実施計画改訂版に関する説明会(下田地区) 応答集

1 日 時 平成19年8月28日(火) 19:02~20:10

2 場 所 三条市立千代が丘保育所

3 出席者数 53人

番号	項目	質問内容	回 答	備 考
1	費用	民営化に伴い、保育にかかる費用はどうか。	<p>保育の実施主体は、市町村であり、入所及び保育料の決定については公立、私立とも市で行うものであります。したがって、民営化しても保育料については変わりません。</p> <p>制服、教材等の実費徴収金は、市が認めるもの以外は保護者の同意なしに徴収することはできないこととしており、民営化によって保護者の経済的負担が大きくなるよう配慮します。</p>	
2	民営化のメリット デメリット	<p>保護者にとっての民営化のメリットは何か。</p> <p>また、デメリットはないのか。</p>	<p>私立保育園では、土曜午後保育、12時間保育、乳児保育など保育サービスの向上に努めていることに加え、特色のある保育に取り組んでいる。保護者の選択にはなるが、保育サービスの向上が民営化のメリットであると考えています。</p> <p>デメリットとしては、保育士が変わることによる保育の質の低下が考えられますが、引継ぎ保育を十分に行い、質の低下を招くことのないよう努めます。</p>	

3	移管希望法人	<p>昨年１０月に申込みがあった移管希望法人のうち、決定した法人及び施設はどこか。</p> <p>また、保育の実績のある法人からの申込みがなかったのはなぜか。</p>	<p>社会福祉法人しただについては、（仮称）中央保育所及び千代が丘保育所の移管を希望していましたが、両施設については、公立保育所として配置することとなったため、移管先法人としての選定をお断りしました。</p> <p>社会福祉法人県央福祉会については、嘉坪川保育所の移管を希望し、先日、移管先法人として決定しました。</p> <p>三条保育所の移管を希望している新規法人設立予定の（仮称）どれみ福祉会、西四日町保育所の移管を希望している社会福祉法人恩賜財団済生会支部新潟県済生会については、今後、移管先法人としての適否について審査を行います。</p> <p>保育所を運営している法人から申込みがなかった理由については、当該法人の意向として新たに保育所を運営する予定がなかったからであると考えられます。</p>	
4	職員の身分及び職員交流	<p>民営化に伴い職員の身分はどうなるのか。</p> <p>また、職員の交流、人事異動はどうなるのか。</p>	<p>公立保育所の職員は、他の公立保育所へ異動となります。</p> <p>臨時職員については、法人の職員として採用することは可能です。</p> <p>職員交流については、公立保育所に私立保育園の保育士が入って引継ぎ保育を行うこととしています。また、場合によっては、民営化後も当時の公立保育所の保育士が、定期的に様子を確認に来ることが必要であるかどうか検討したいと思います。</p>	
5	統廃合	<p>名下保育所及び中浦保育所の統廃合の時期はいつごろか。</p>	<p>名下保育所を統合する予定のある荒沢保育所、中浦保育所を統合する予定のある飯田保育所について、統合に当たって増築するための相当な経費が必要となり、現時点で予定が立っていないことから、時期としては、平成２３年度以降になりますが、具体的に示すことはできません。</p>	
6	移動	<p>民営化を機に千代が丘保育所に移ろうとする場合に、定員を増やして受け入れてくれるのか。</p>	<p>面積に応じた定員が設定されていることから、際限なく定員を拡大することはできません。</p>	
7	公民比較	<p>私立保育園はいずれも定員を超過しているが、公立保育所の一部は定員を大きく割っている施設があるが、その理由は。</p>	<p>一概には言い切れませんが、私立保育園の方が保護者のニーズを捉えている結果であろうと思います。</p>	

8		公立の定員割れの原因としては、私立のサービスが良いからなのか、公立の保育サービスが不十分であるからなのか。	私立保育園の定員充足率が高いのは、土曜午後保育の実施などが理由として考えられます。そういった側面を捉えるのであれば、公立と比較して私立の方が、保育サービスが充実していると言えるのかもしれません。	
9	経費・経営	私立と比べて公立の先生の人件費の方が多くかかっているが、その分私立に負けないサービスを提供できるよう努めてほしい。	公立保育所については、今年度から１２時間保育を実施し、保育サービスの向上に努めていますが、今後も公立と私立で切磋琢磨して、三条市全体の保育サービスの充実を図っていきます。	
10		私立保育園は、保育園の運営が可能で、公立保育所は保育園の運営が厳しいのは、市の経営努力が足りないからではないか	民営化を進める背景として、保育所運営費負担金が、私立にのみ補助されていて、公立については、一般財源の中に算入されるなどの財源確保の違いは生じています。 しかしながら、限られた財源を有効に活用するよう、公立においてもさらに経営努力をしていきます。	
11	その他	お金のためでなく、子どものことを考えて民営化を進めてほしい。	十分留意いたします。	
12		保育料の未納はどれくらいあるのか。経済力のある人で納めない人もいるのか。	手元に資料がないので正確な数字ではないが、平成１８年度の収納率は、９６％程度（滞納繰越を含む。）であります。 保育料未納の方については、呼び出して事情を確認して指導をしたり、誓約書を書いてもらうなど、時期が遅れても収めていただくよう市としても努力しています。	
13		どこの保育所に入所することも可能であるのか。	可能です。	